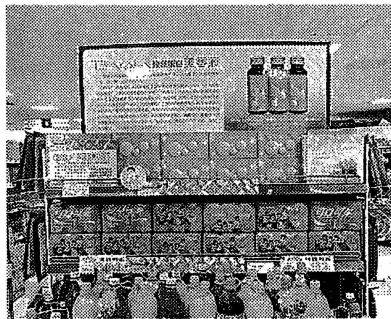


一般用医薬品(大衆薬)メーカーの日新薬品工業(滋賀県甲賀市、大北正人社長)は中国でドリンク剤の販売を本格化する。中国出身者の採用を増やし、市場調査と販路開拓を進める。滋賀県と姉妹提携関係にある湖南省を中心に販売し、富裕層を中心に売り込みたい考えだ。

中国出身社員は1人が輸出と認可関係を担当。さらに4月に立命館大学薬学部を卒業する中国出身者を採用する。来年以降も日本の薬学関連学部への留学生などを毎年1〜2人採用して社内体制を整える。

中国富裕層にドリンク剤 日新薬品、販売を本格化

百貨店の売り場に並んだBAOLA(湖南平和堂)



故が起き、成分中の海洋深層水への放射性物質が懸念されるとされ、現在は出荷を中断している。

海洋深層水を使用せず放射性物質検査の認証を得て再出荷する。BAOLAの価格は1本29・8元に設定したが、本格出荷を前に販売価格見直しも視野に市場調査を強化する。

日新薬品は昨年1月、コラーゲンを配合したドリンク剤「BAOLA」を10万本輸出。湖南省のドラッグストアと日系百貨店、テレビ通信販売を通じて発売した。その後、東日本大震災によって原子力発電所の事

日新薬品はトローチのトップメーカー。ドリンク剤は1968年から自社ブランドの「チオタミンD」を製造販売し、OEM(相手先ブランドによる生産)供給も手掛ける。

(大津)